

科目名		授業形態	担当教員名	
物理学		講義	堀越 圭子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
自然界では様々な現象が起こり、またそれらは絶えず変化している。その現象や変化に対して「なぜだろう？」という探究心を持つことがとても大切である。物理学は自然界の現象や仕組みや法則性を観察や実験を通して解き明かそうとする学問である故、我々の生活とも深く密着したものであるといえる。そこで、我々が日常生活で見逃している現象をズームアップして、興味が深められるように、物理学の原点に戻り「親しみやすい物理学」を目指し、講義を行う。				
授業の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や身体の運動について物理学的に説明できるようになる。 物理療法機器の原理を理解できるようになる。 				
授業計画				
回	内容			
1	中学物理復習問題と解説			
2	物理学の基礎（誤差と有効数字）			
3	色々な力			
4	剛体のつりあい(1) 理論			
5	剛体のつりあい(2) 練習問題			
6	力と運動(1) 理論			
7	力と運動(2) 練習問題			
8	仕事とエネルギー(1) 理論			
9	仕事とエネルギー(2) 練習問題			
10	熱と温度			
11	熱力学			
12	電流と電圧			
13	電流による発熱作用			
14	物理関係の国家試験問題解説			
15	テスト予想問題と解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	10%			
平常点	10%			
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自然科学の基礎としての物理学	原 康夫		学術図書出版社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				